



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和2年度 第 9号
令和2年 9月9日

外部の教育力を生かして、豊かな学びを・・・

コロナ禍の状況ではありますが、子供たちの学ぶ意欲を高め、豊かな学びを創造する授業を目指して、外部人材の教育力を計画的に取り入れています。第8号でお知らせしたSDGsの目標について一人一人の子どもたちが「考え、相談し、実践し、もう一度考える」そんな授業を目指しています。

4年生 “届けよう、服のチカラ” プロジェクト (ユニクロ・GU)

9月4日(金)にGUの方に来校いただき、ユニクロが行っている“届けよう、服のチカラ”プロジェクトについてお話を伺いました。4年生は、総合的な学習の時間に「ごみを減らすために…」自分たちにできることについて話し合い、ちょうど今実践中です。自分たちが知っている会社がSDGsの観点で行っているリサイクルプロジェクトについて知ること、学校の中で行っているリサイクルが、大きく広がる事を伝えられたのでお願いしました。世界の難民の事、リサイクルの事を知り、当たり前だと思っていた事が当たり前ではない事を知った4年生です。これからリサイクルがどのように広がっていくのか楽しみです。



【4年生の感想】

- *「難民のことを考えて支えてくれてありがとう。」と思いました。服にはチカラがあって、そのチカラは命を守り、人が人らしく生きるチカラだと初めて知りました。
- *世界には難民が、八千代市の人口の354倍もいると聞いて驚きました。自分達にも難民のためにできることがあると知って良かったです。
- *ぼくは次々と新しい服を買ったりもらったりしていたけれど、簡単には服が手に入らない人がいることを知りました。ぼくも卒業した服を届けようと思いました。
- *世界には困っている人がいて、いつも通り暮らせることは、とても幸せなんだと思いました。
- *ユニクロやGUは、SDGsの12「つくる責任・つかう責任」について考えて、このプロジェクトを始めたことを知りました。私の将来の夢は服のデザイナーなので、再利用の力について考えて「つくる責任つかう責任」を大切にしたいと考えました。
- *ユニクロやGUは服を作って売っているお店としか思っていませんでした。地球の資源の事や、世界の難民のことを考えて、ユニクロやGUができることをプロジェクトにしているのがすごいと思いました。自分たちも協力することで役に立てると思いました。
- *当たり前のように服が小さくなら捨ててしまっていたけど、大事に着ていここにあげたり、ユニクロに寄付したいと思いました。ぼくもユニクロやGUの手助けをしたいです。一人では少しの服しか集まらないと思うけれど、みんなで相談してたくさん集めたいです。
- *難民のほとんどが子供たちだと聞いてびっくりしました。家があって、毎日ご飯を食べて、好きな服を着て生活していることが当たり前ではないことがわかって少し悲しくなりました。少しでも笑顔になってもらうために、このプロジェクトに協力したいと思いました。